

(様式2)

農業の新しい技術

No.611 (平成21年9月)

分類コード 01-14

熊本県農林水産部

褐毛和種種雄牛「^{だいよんつるみつ}第四弦光」の選抜

農業研究センター畜産研究所生産基礎技術研究室
担当者：地内正嗣

研究のねらい

産肉能力直接検定で選抜された種雄牛の遺伝的能力を推定するため、後代牛による産肉能力現場後代検定を実施し、その肥育及び枝肉成績により優秀な種雄牛を選抜する。

研究の成果

- 肉質とロース芯面積に優れた褐毛和種種雄牛「第四弦光」を選抜した。

血統

父 第四光重(高82)

母 第二たかまる(繁殖2263)

祖父 光重ET(育高1)

祖母 ひさつる(育高275)

祖父 第二重波(特27)

祖母 たかまる(特15748)

登録番号：繁殖130

生年月日：平成15年5月3日

生産地：山鹿市

- 現場後代検定成績および育種価

脂肪交雑(BMS.No)は去勢3.5、雌3.2で、一般肥育の去勢3.1、雌2.8よりよく、育種価(以下、BVとする)は+2.63(評価種雄牛458頭中2位)と極めて高く、非常に優れた能力を有すると推定される。

ロース芯面積は去勢 51.0cm^2 、雌 48.8cm^2 で、一般肥育の去勢 47.7cm^2 、雌 45.5cm^2 より大きく、BVも $+7.40\text{cm}^2$ (評価種雄牛458頭中5位)と高く、優れた能力を有すると推定される。

枝肉重量は去勢464.3kg、雌406.4kgで、一般肥育の去勢471.6kg、雌422.8kgよりやや小さく、BVは $+4.67\text{kg}$ (評価458頭中167位)である。

* 育種価(BV)は、産子の肥育成績や血統情報等を用いて、後代が父牛の遺伝的影響でどれだけ改良されるかを予測した数値。



第四弦光

表1 現場後代検定成績(去勢：8頭)

区分	出荷 月齢 (月)	と畜前 体 重 (kg)	1日当たり 増体量(D G) (kg)	枝肉重量 (冷と体) (kg)	脂肪交雑 (BMS.No)	ロース 芯面積 (cm ²)	ばらの 厚さ (cm)	皮下脂肪 の厚さ (cm)
検定	25.7	724.4	0.95	464.3	3.5	51.0	7.2	1.9
一般	25.2	723.8	0.97	471.6	3.1	47.7	7.4	

表2 現場後代検定成績(雌：6頭)

区分	出荷 月齢 (月)	と畜前 体 重 (kg)	1日当たり 増体量(D G) (kg)	枝肉重量 (冷と体) (kg)	脂肪交雑 (BMS.No)	ロース 芯面積 (cm ²)	ばらの 厚さ (cm)	皮下脂肪 の厚さ (cm)
検定	26.0	636.3	0.77	406.4	3.2	48.8	6.7	2.2
一般	25.4	647.0	0.88	422.8	2.8	45.5	7.1	

表3 育種価(B V)

種雄牛名	後代牛数	1日当り 増体量(kg)	枝肉重量 (kg)	脂肪交雑 (BMS.No)	ロース 芯面積(cm ²)	ばらの 厚さ(cm)	皮下脂肪の 厚さ(cm)
第四弦光	2 3	0.042	4.67	2.63	7.40	-0.15	-0.89
正確度		0.89	0.88	0.91	0.88	0.89	0.91
順位		106	167	2	5	321	13
評価種雄牛数		458	458	458	458	458	458